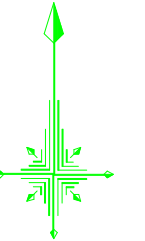
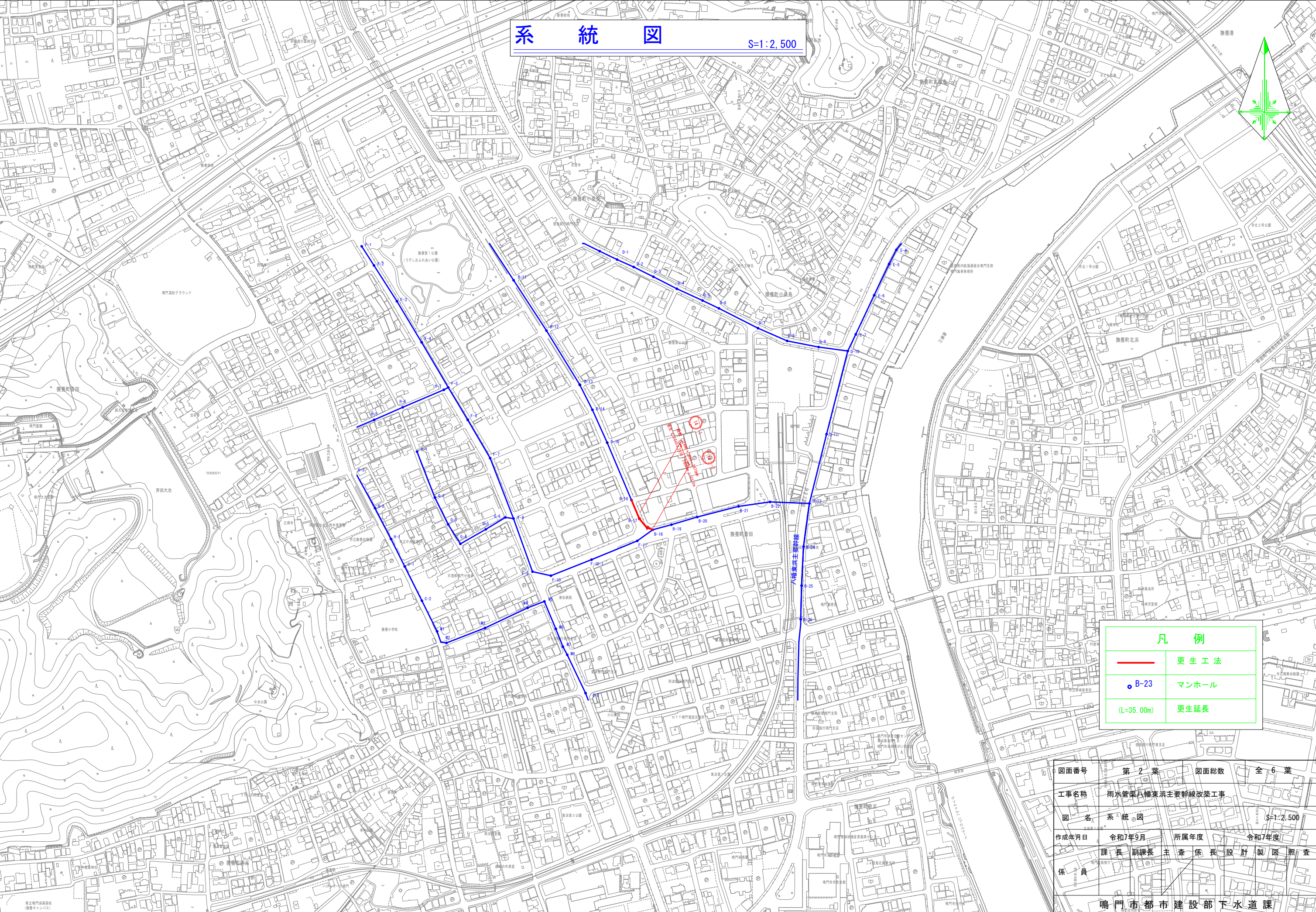


S=1:10,000



図面番号	第 1 葉	図面総数	全 6 葉				
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事						
図 名	位 置 図 S=1:10,000						
作成年月日	令和7年9月	所属年度	令和7年度				
係 員	課 長	副課長	主 査	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 都 市 建 設 部 下 水 道 課							



系統図 S=1:2,500

凡 例

更生工法

● B-23

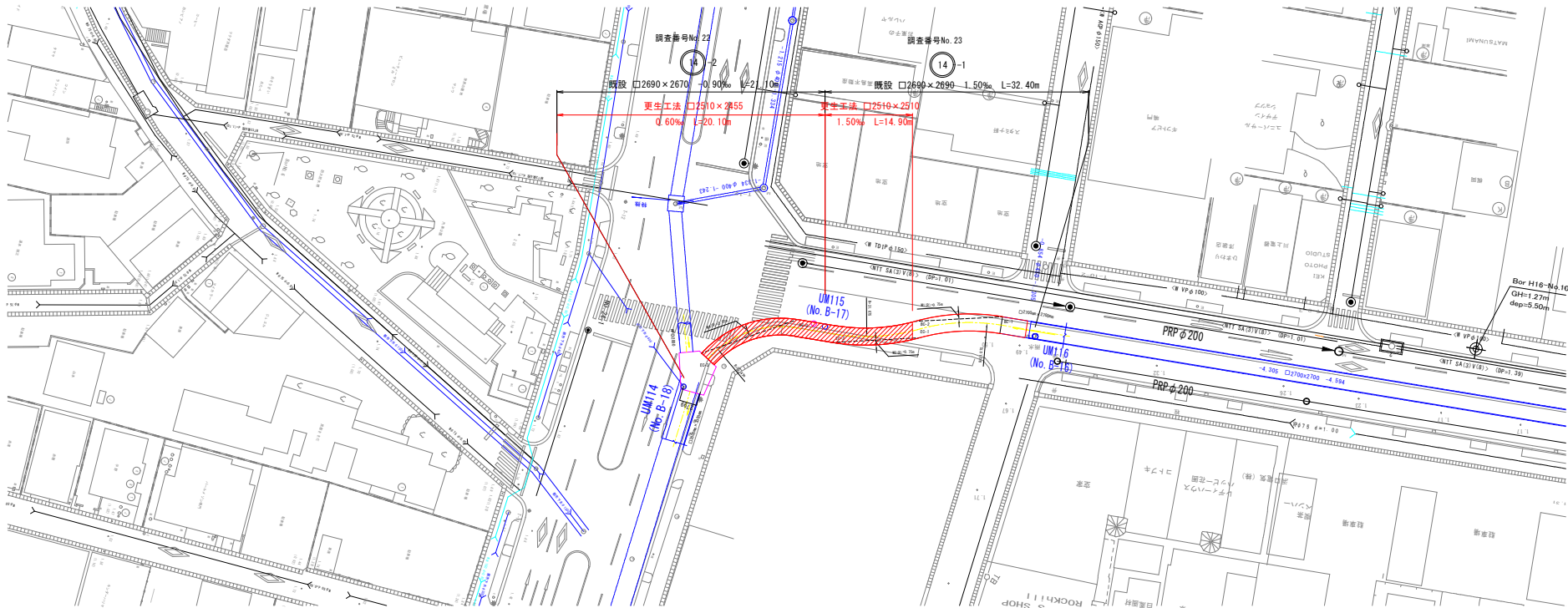
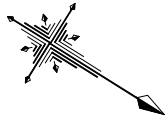
マンホール

(L=35.00m)

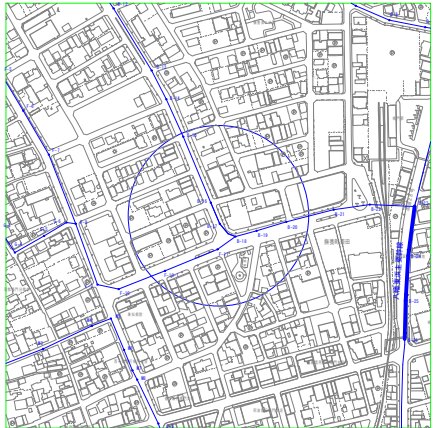
更生延長

図面番号	第 2 葉	図面総数	全 6 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図 名	系 統 図	S=1:2,500	
作成年月日	令和7年9月	所属年度	令和7年度
係 員	課 長	副課長	主 査
	係 長	係 長	設 計
鳴門市都市建設部下水道課			

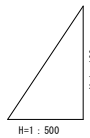
平面図 S=1:500



位置図 S=1:5,000

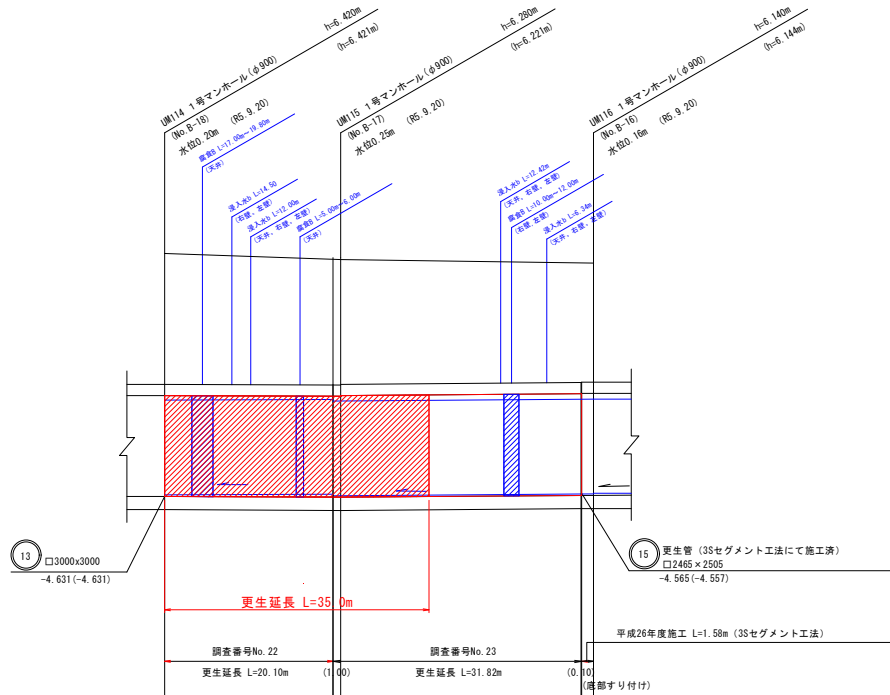


縦断面図 V=1:100
H=1:500



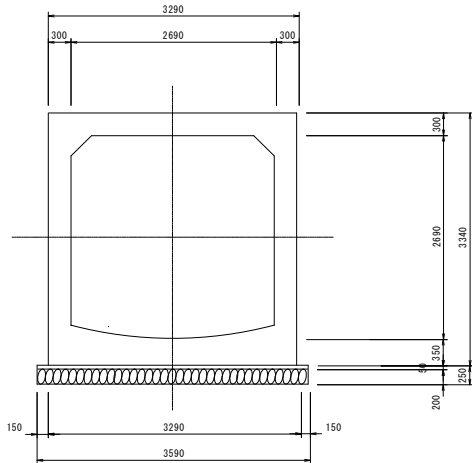
DL=-10.00

0.00
-5.00



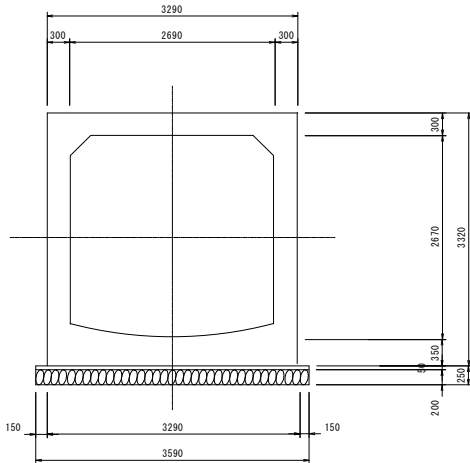
現況断面図(14-1)路線 S=1/50

現場打ちボックスカルバート
□2690mm×2690mm



現況断面図(14-2)路線 S=1/50

現場打ちボックスカルバート
□2690mm×2690mm



※(14-2)は逆勾配のため勾配調整を行う。

※縦断面図の()の値は台帳値である。

<>は現況勾配である。

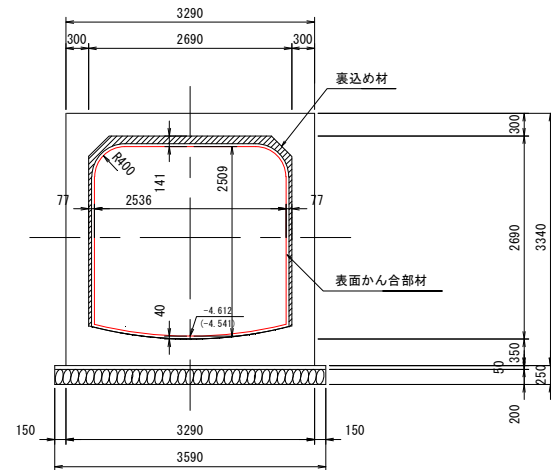
路線番号	八幡東浜主要幹線 (14-2)		八幡東浜主要幹線 (14-1)	
管径	更生 □2510×2455mm (既設 □2690×2670mm)		更生 □2510×2510mm (既設 □2690×2690mm)	
勾配	0.60‰ <-0.9‰>		1.5‰ <1.5‰>	
人孔間距離 (管体延長)	21.10m (23.00m)		32.40m (33.50m)	
土被り	3.45 (3.42)		3.14 (3.14)	
既設管底高	-4.631 (-4.631)		-4.602 (-4.594)	
計画管底高	-4.591 (-4.591)		-4.512 (-4.504)	
地盤高	1.79 (1.79)		1.53 (1.54)	
単距離	0.00		32.40 (33.50)	
追加距離	0.00		53.50 (55.50)	
測点	UM114 (No. B-15) CL=15.1m (R=14.2m) L=6.00m	UM115 (No. B-1) L=1.70m CL=19.7m (R=64.5m)	UM116 (No. B-16) L=4.8m	

図面番号	第 3 葉	図面総数	全 6 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図 名	平面図・縦断面図 H=1:500 V=1:100		
作成年月日	令和7年9月	所属年度	令和7年度
係 員	課 長	副課長	主 査
			係 長
鳴門市都市建設部下水道課			

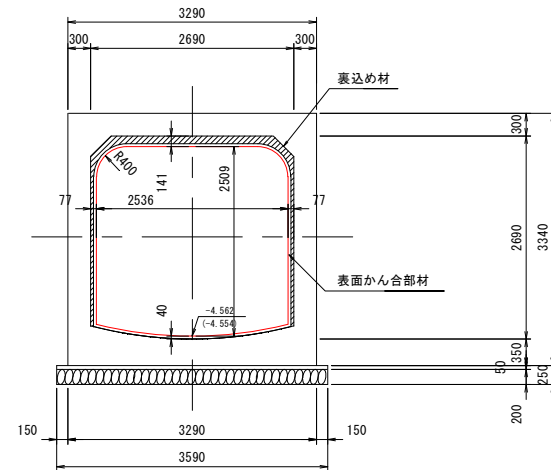
S=1:50

調査番号23

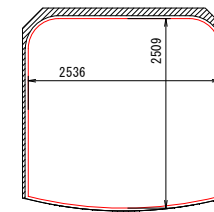
□2510mm×2510mm
上流側



□2510mm×2510mm
下流側



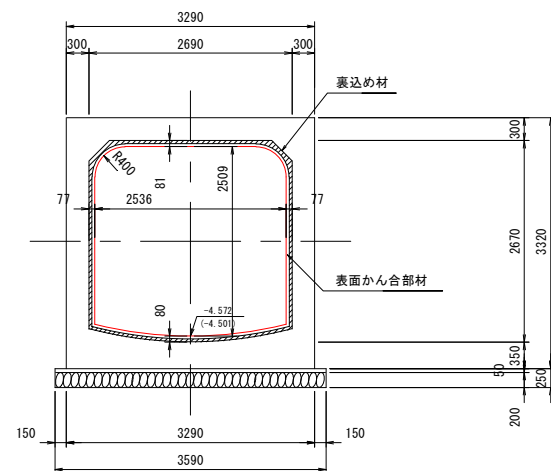
□2520mm × 2380mm



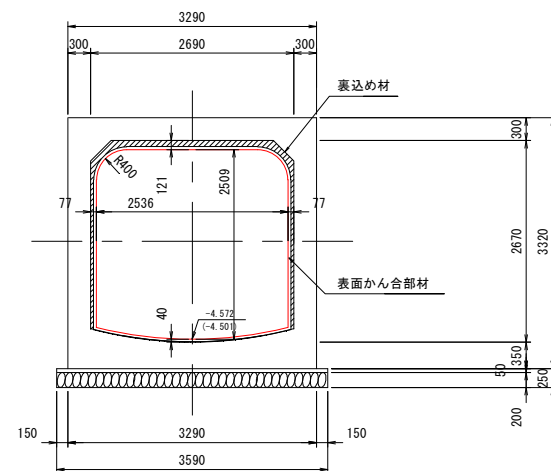
既設管断面積	7.009m ²
一更生管断面積	6.163m ²
	0.846m ²

調査番号22

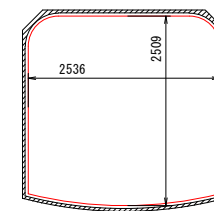
□2510mm×2455mm
上流側



□2510mm×2455mm
下流側



□2510mm×2455mm

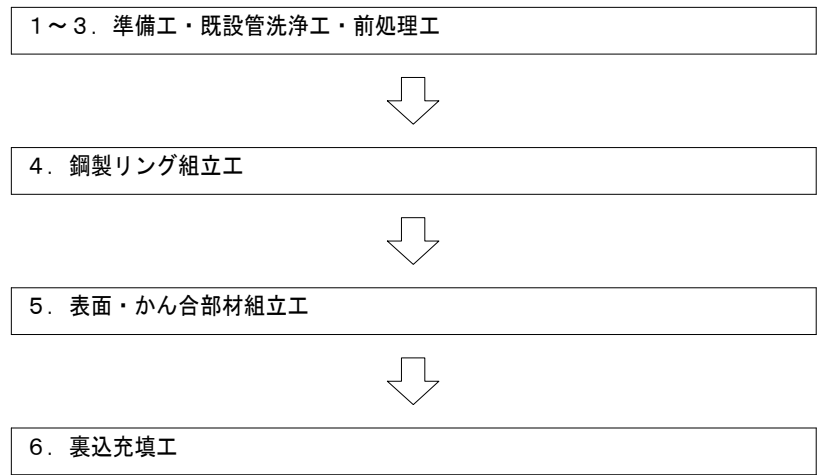


既設管断面積	6.955m ²
一更生管断面積	6.163m ²
	0.792m ²

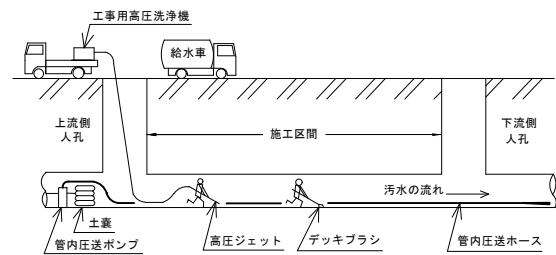
図面番号	第 4 葉	図面総数	全 6 葉				
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事						
図 名	更生断面図 S=1:50						
作成年月日	令和7年9月	所属年度	令和7年度				
係 員	課 長	副課長	主 査	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 都 市 建 設 部 下 水 道 課							

管きょ更生工法（製管工法）施工参考図 （人力かん合）

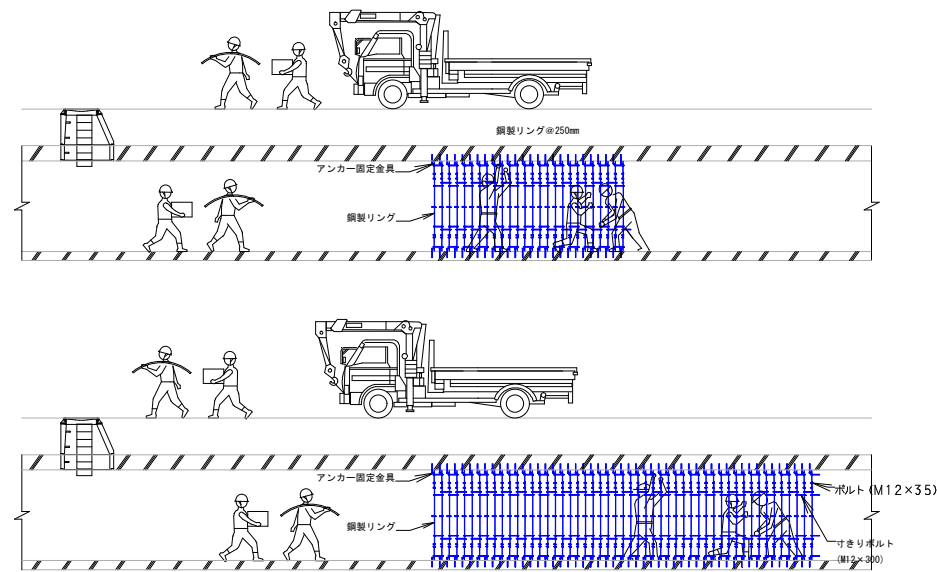
標準作業工程



1～3. 準備工・既設管洗浄工・前処理工

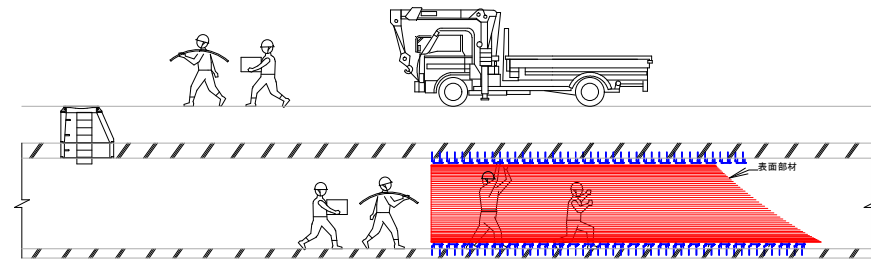


4. 鋼製リング組立工



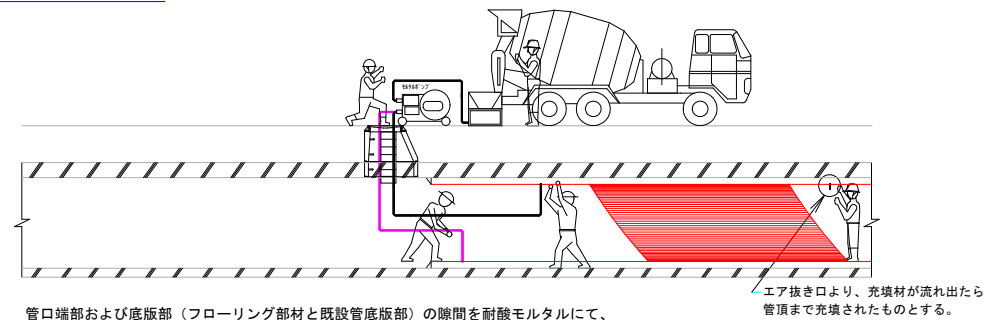
鋼製リングを人孔から管きょ内に運搬し、ボルト結合により鋼製リングを組み立てる。
組立て作業終了後にボルト、ナットのゆるみがないことを確認する。

5. 表面・かん合部材組立工



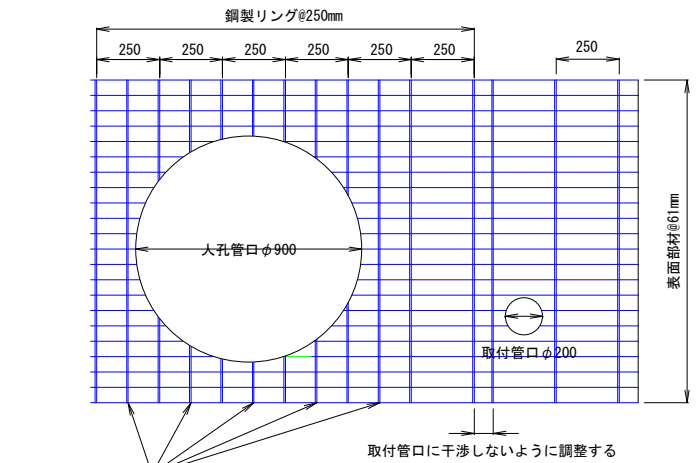
鋼製リングの組立完了後、かん合部材を人孔口から搬入し、鋼製リングの溝に組付け。
その後、表面部材を搬入して、プラスチックハンマーを使用し、かん合部材とかん合せ。
表面部材とかん合部材の標準長さは5mであり、管長方向に接合するためにステンレス製の表面接合部材とかん合接合部材を差し込み使用する。

6. 裏込充填工



管口端部および底版部（フローリング部材と既設管底版部）の隙間を耐酸モルタルにて、
充填材が流出しないよう処理する。
鋼製リング組立完了時に測定した断面積より充填材注入量を計画する。
充填ポンプを使用して表面・かん合部材と既設下水管渠との間に充填材を注入する。
1日の打設高さは、最大50cmとするが、底版部は底版部処理からの流出が考えら
れるため10～20cm程度とする。
注入中は、目視で確認しその都度注入箇所を移動させる。
天井部分の注入時には、エア抜き口を設置し天井部分の充填を確認する。

人孔開口部参考図



開口部処理により切断した鋼製リング量以上の
鋼製リングを開口部周辺に配置する。

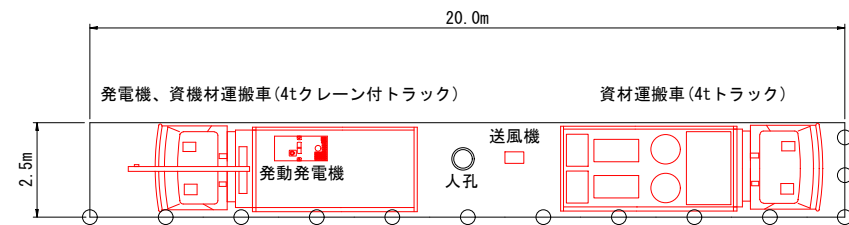
- ①事前に取付管部に塩ビ管等の仮配管を接続する。
- ②鋼製リング組立工時、開口部（φ250以上）に干渉する部分の、鋼製リング及び表面部材を切断する。
（φ250未満の取付管については、前後の鋼製リングを干渉しないように設置する。）
- ③切断した鋼製リング量以上の鋼製リングを開口部周辺に配置する。
- ④耐酸モルタル等を使用し、充填材の漏れがないように、端部処理を行う。
- ⑤充填材の硬化後に、仮配管突出し部の切断又は、仮配管の撤去を行い、耐酸モルタル等を使用し、取付管口を仕上げる。

図面番号	第 5 葉	図面総数	全 6 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図 名	管きょ更生工法（製管工法）施工参考図		
作成年月日	令和7年9月	所属年度	令和7年度
係 員	課 長	副課長	主 査
鳴門市都市建設部下水道課			

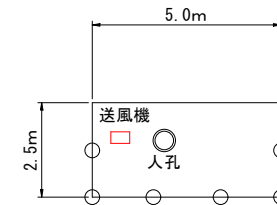
S=1 : 100

綱製リング組立工
表面・かん合部材組立工

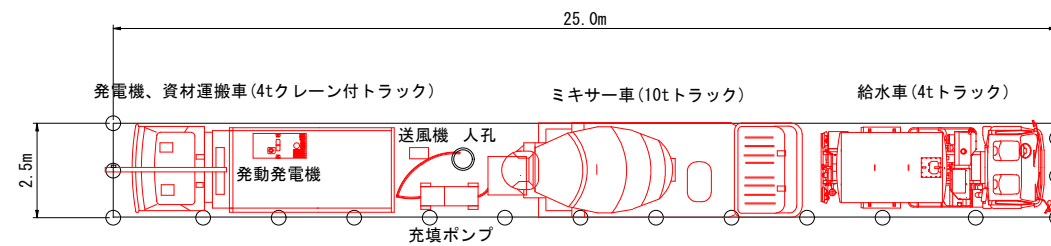
20.0m



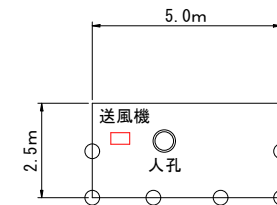
5.0m



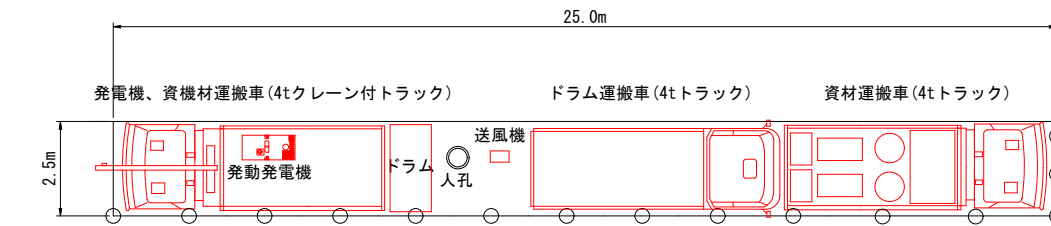
25.0m



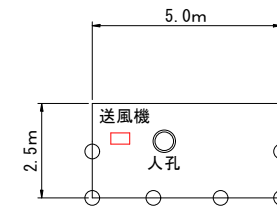
5.0m



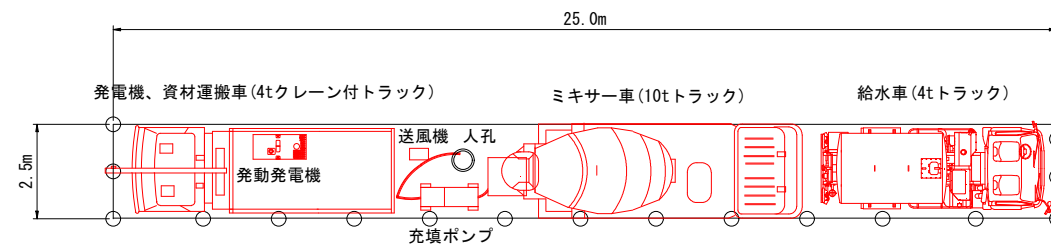
25. 0m



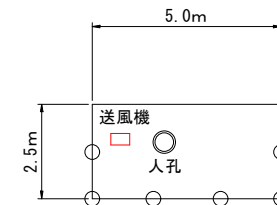
5.0m



25.0m



5.0m



図面番号	第 6 葉	図面総数	全 6 葉				
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事						
図 名	標準施工ヤード参考図						
作成年月日	令和7年9月	所属年度	令和7年度				
係 員	課 長	副課長	主 査	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 都 市 建 設 部 下 水 道 課							